



## 1 IT技術を地域課題の解決活かせ



### 株式会社 ケーシーエス



5月12日(月)、「いばらき P-TECH」参加校の県立水戸商業高等学校の情報ビジネス科1・2年生160人を対象に、「メンタリング」が実施され、三つの企業にご協力頂きました。

#### <株式会社 ケーシーエス>

温度分布を地図情報にマッピングする可視化技術を紹介し、IT技術とAIの活用事例を分かりやすく説明していました。

#### <株式会社 ユードム>

IT技術で社会インフラを支えている企業で、電車の電光掲示板システム、学校のGIGAスクール構想を支援しているとの説明がありました。

#### <株式会社 アプリシエイト>

ハカリマスターという農業や福祉の課題解決に役立つIT技術が紹介されました。障害のある人も数字でなく絵で示すことで、効率がアップしたとの説明がありました。

#### <本年度の探求や課題研究を進める高校生から>

○「身近なことでもIT技術でサポートできることが沢山あることが、企業のお話を聞いて分かった。身近な課題を研究していきたい」

○「体の不自由な人のためにIT技術を使うことはとても良いと思った。自分もIT技術を人のために役立てていきたい」などの感想がありました。

### 株式会社 アプリシエイト



「メンタリング」とは、指導する側のメンターと、指導される側のメンティーが1対1で進めるもので、メンターの助言でメンティーの気づきに気づき、どのように課題を解決していくかを共に考える取り組みです。

## 2 『記事トレ』 紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

### <記事トレ>日本経済新聞 (2025年5月10日) プログラミング AIにお任せ 「パイプコーディング」米で活況

#### ●大森鋼刃さん(太田一高卒)

◇要約: アメリカのテクノロジー企業で、ソフトウェアの開発手法が普及し始めた。

その一つである「パイプコーディング」は、使い次第で細部まで作りこむことができ、専門のプログラマーが使えば生産性が上がるため開発が進んでいる。

◇感想: この記事を読んで、私はAIやパイプコーディングなどが開発されることによって、情報技術が発展し、経済がより豊かになると想像した。

専門知識を持たない初心者が使うためにも開発が進められることが興味深い。

#### ●川井統真さん(常磐高卒)

◇感想: プログラミングの殆どをAIがやってくれるのは凄いなと思った。使い手の力量次第で細部まで作りこめる。

パイプコーディングに頼り切ることなく、それを使いこなす技量も必要だと思った。

#### ●黒澤麻衣さん(佐和高卒)

◇感想: 生成AIにプログラマーの仕事やその負担を減らすことが出来たら、プログラマーの時間も増えると感じた。

クリエイティブな仕事をしていくためにも、AIなどの技術を上手く使いこなすことが大切になってくると考える。

#### ●西丸 翔さん(常磐高卒)

◇感想: プログラミングを自分の手でなくAIが行ってくれるのはとても楽なことだと思うが、ITエンジニアの必要性がなくなってしまう可能性が考えられる。

しかし、AIにも弱点があるので、そうした点を補うことが出来るITエンジニアになりたい。

#### ●渡邊正史さん(水戸葵陵高)

◇感想: パイプコーディングによってAIが殆どのコードを自動生成できるようになったということを知った。

近年のAIの進歩は凄まじく感じると同時に、AI関連の技術を日頃から調べ深く知る必要があると感じました。

